

紅白やお正月特番のない年越し。ドイツの年始は（個人的な都合もあるけれど）花火に始まりあっさりと過ぎていく ...

2005.1.4 更新

カウントダウン

テレビ

30 チャンネルほどあるテレビ番組をザッピング。ニュースはクリスマスに起きた津波関連のものばかり。欧州から休日を過ごしに行っていた人が多いせいもあるだろうか。あとは映画の垂れ流しが多い。面白いのは単語クイズ番組。3×3などに並べられたアルファベットから単語を類推するようなタイプで解答を電話受付しているようなのだが、クリスマスであろうと年末であろうとず〜っとやっている。流石にクリスマスイブには担当者はサンタ衣装だったが。

花火

0 時になるとともに、一斉に花火が上げられる。自宅のあるところは、かなり閑静な住宅街なのだが、おかまいなしに公園やら線路の上やらでポンポン打ち上げられる。棒の長さが1 m位のロケット花火が多く、火薬部分は10～15cm 位だろうか。この騒ぎは1時間～2時間程度続く。

でかプレッツェル

年末年始にはプレッツェルの形をした大きなパンを食べる ... らしい。大家さんに頂いた。年末にはこれを買うためにパン屋は行列なのかもしれない。

煙突掃除人形と四葉のクローバー

煙突掃除人形つきの四葉のクローバーの鉢植えも大家さんから頂いた。この鉢植えは1階の居間にたくさんあり、どうやら新年に近所に配っているらしい。Web で検索すると、幸運のシンボルとして扱われているそうだ。大家さん有難う。

元旦

散歩？

元旦は店もお休み。することもないので我が家は揃って大学近くの公園に出かけたのだが、道路では散歩する老夫婦とかをよく見かけた。特に教会に行くということもないらしいので、本当にただの散歩らしい。

ゴミ

空き地には晩の花火の残骸が山のように転がっている。トラムの線路の上もすごいことになっていた。ワインのビンはその場で飲んだ後、ロケット花火の発射台になったと思われる。写真左はトラムの駅にあるゴミ箱だが、山のようなドッグフードの缶である。これまた発射台なのだろう。

因みにハンブルグに帰省していた Christoff 君によると、市内の花火ゴミは14 トンにもなるとか。

ドイツの花火屋は年末に稼ぐんだな～.

宴の ... 痕

ゴミ回収

3 日あたりには、あちこちで清掃作業が行なわれていた。トラムの線路を清掃する専用車両が印象的。シャーシ下にトラムと同幅の車輪型清掃装置がつけられている。確かにこれくらいしっかり掃除しないと花火の痕は消えなさそうだ。

[[カールスルーエ滞在記 TOP](#)] [[Home](#)]